

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

7人きょうだいの末っ 氏は太陽をモチーフに幣舞子。11歳年上の兄、木島務 橋や釧路湿原を描き、孤高

釧路の魅力 絵本で発信

の画家として活躍した。「家 えてそれが絵本のようだった」や商品デザインに実力を発 され、木島さんの描く絵の 中には絵の具や画集が「た」と幼い頃を思い出す木 揮。若手デザイナーの育成 世界は一気に花を咲かせ た。「若い時は次々にデザ イン案を出すことができ た。年を重ねて体が弱くな ってくる、物事がフォーカスして見えてきて、デザ

業後に東京デザインカレッジに進学。ふるさと釧路に 大きな転機は、2012 インすることの扉が半分開

戻り、広告代理店で商業デ ザインの腕を磨く。「あの たい」という募金活動がス

頃はすごい先輩がいつぱい タート。愛らしいキリンの

いた。釧路は札幌に負けな 親子を描いた作品をきつか

いほどのレベルで、その先 けに直木賞作家、志茂田景

輩たちに憧れ、目標にして 樹さんとの絵本作りが始ま

頑張った」という。 った。今年も「ばっちゃん

1984年にデザイン企 コグマ」「シマフクロウの

画会社「スタッフ」を先輩 ぽこ」と志茂田氏とコンビ

たちと立ち上げ、共同経営。 を組んだ絵本が全国で出版

自ら絵筆を握り、ポスター



絵画

木島 誠悟さん(68)＝釧路市

年をとって見えてきたものがある」と木島さん



公益財団法人釧新教育芸術振興基金は、2017年度釧新郷土芸術賞を1個人1団体に、特別賞を1団体に贈る。それぞれの横顔を3回にわたって紹介する。